

FAST CLASS COLLECTION

ARTPOLYMER-MUKI

無機ハイブリッド

超低汚染性

超高耐候性

防カビ・防藻性

難燃性

家も心もきれいに。



最高技術がここに
より長く綺麗に
より長く家を
守り続ける。

■製品名

アートポリマー無機
期待耐年数・・・20～30年

「有機」から「無機」へ時代は進化する

無機物質…建築材料としては石やガラスを代表とする物質で、歴史的建造物が美しい姿を現在に伝えていることにより、その耐久性が証明されています。

アートポリマー無機は、無機ポリマーを主体としていますので、無機の特徴である難燃性、超低汚染性を発揮します。さらに、紫外線エネルギーより高い無機ポリマーの分子間結合力が塗膜の劣化を防ぐ事により、優れた耐候性を示します。

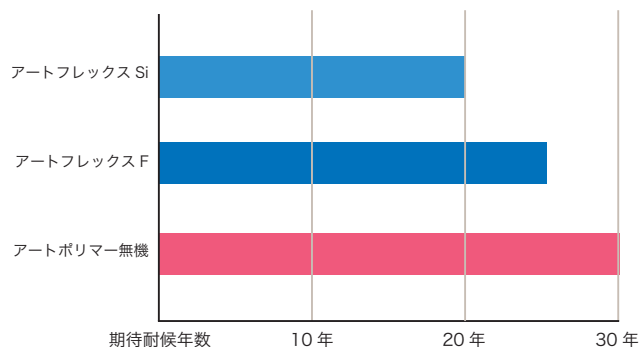
また、有機物質をハイブリッドにすることにより、適度な柔軟性を有し、ひび割れに強い塗膜を形成すると共に、従来の有機系塗料と同様の耐アルカリ性を有しています。

『水性』『無機』『有機』のハイブリッドにより、環境に優しく、強い無機塗料を実現し、次世代への建物の継承を強力にバックアップします。

フッ素塗料を凌ぐ耐候性

フッ素塗料を凌ぐ光沢

フッ素塗料を凌ぐ塗膜硬度

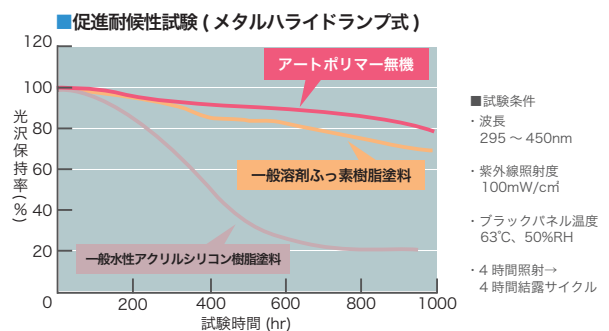


※期待耐年数はあくまでも目安であって保証するものではありません。

特徴

超高耐候性

アートポリマー無機は、化学的に安定したポリシロキサンを形成する無機質ポリマーを主成分としているため、紫外線や熱に起因する劣化に強く、耐候性に優れています。フッ素樹脂塗料を凌ぐ耐候性が期待でき、ライフサイクルコストを抑えることができます。



超低汚染性

反応硬化による綿密な塗膜が汚れの侵入を防ぎます。また、無機質の特徴である親水性により優れた超低汚染性を発揮します。

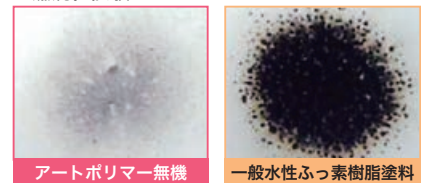
■汚染性比較試験結果…屋外暴露による雨すじ汚れの比較



難燃性

主成分が無機物質なので、非常に燃えにくい塗膜を形成し、建物を守ります。

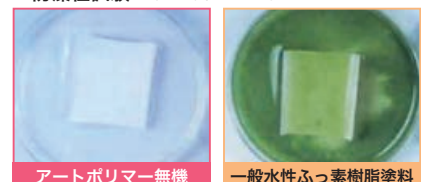
■燃焼性試験…ガスバーナーによる塗膜の燃焼試験



防かび・防藻性

微生物(かび・藻など)の発生を防ぎ、長期間美観を維持します。

■防藻性試験…寒天培養法 28 日間



■塗膜性能

試験項目		アートポリマー無機	品質規格
容器の中での状態		合格	かき混ぜたとき、硬い塊がなくて一様になるものとする。
低温安定性 (-5℃)		合格	変質しないものとする。
塗装作業性		合格	2回塗りで、はけ塗り塗装作業に支障があってはならない。
乾燥時間	標準状態	合格	2時間以内
	(5℃)	合格	4時間以内
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
隠ぺい率 % [白及び淡彩]		97.5%	95%以上
鏡面光沢度 (60度)		90	70以上
耐水性		合格	異常がない。
耐アルカリ性		合格	96時間浸したとき光沢保持率が80%以上で、塗面に異常がないものとする。
耐洗浄性		合格	1000回の洗浄に耐えるものとする。
耐湿潤冷熱繰返し性		合格	光沢保持率が60%以上、白亜化の等級は1又は0で、色の変化の程度が見本品に比べて差がない。
促進耐候性		83%	メタルハライドランプ式 1000時間照射後の光沢保持率
乾燥時間	標準状態	HB	JIS K5600-5-4 塗膜の機械的性質 - 引っかかり硬度 (鉛筆法) 評価: 塑性変形
	(5℃)	3H	
耐屈曲性		合格	JIS K5600-5-1 マンドレルΦ 2mm 塗膜の乾燥: 80℃ × 3日

■可使時間

気温	可使時間
5 ~ 15℃	8時間以内
15 ~ 25℃	5時間以内
25 ~ 35℃	3時間以内

■適用部位

外壁・内壁・鉄扉・鉄鋼建造物

■適用素地

コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル
サイディングボード・鉄骨・鉄板

■色相

白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺
調色: 淡彩色・中彩色・濃彩色

塗替施工仕様 既存塗膜 (リシン・吹付タイル) の場合

工程	塗材	回数	標準所要量 (kg/m ² / 回)	間隔時間 (23℃)	施工方法
下地調整	既存塗膜の浮き、ふくれぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 汚れ、じんあいおよび、チョーキングなどの劣化塗膜を高圧洗浄 (水圧: 15MPa 以上) で除去する。 水洗い面を乾燥させる。 既存塗膜の段差を同一模様になる塗材で復元する。				
下塗	アートフィラー 希釈: 清水 (重量比) 5 ~ 10%	1	0.3 ~ 0.5	8時間以上	ウールローラー
上塗	アートポリマー無機 希釈: 清水 (重量比) 5 ~ 10%	2	0.15 ~ 0.18	2時間以上 5日以内	ウールローラー 刷毛・エアレス

乾燥時間	気温 (℃)	25 ~ 35	15 ~ 25	5 ~ 15
	可使時間	3時間以内	5時間以内	8時間以内
	塗装間隔 (23℃)	3時間以上・5日以内		

用途：住宅、マンション、事務所、店舗、学校、その他建築物（新築・改修）の内外壁面
適応素地：コンクリート、モルタル、PCパネル、ALCパネル、サイディングボード、鉄骨、鉄板
主剤荷姿：アートポリマー無機…16kgセット（主剤：15kg・硬化剤：1kg） 3.2kgセット（主剤：3kg・硬化剤：0.2kg）
調色：白、黒、赤、赤さび色、オーカー色、黄色、紺・調色（淡彩色、中彩色、濃彩色）

施工上の注意事項

降雨・降雪が予想される時、強風の時は塗装を避けてください。
気温5℃以下、湿度85%以上または結露が懸念される場合塗装を避けてください。
施工面が高音（50℃上）の場合は塗装を避けてください。
施工面は、十分に乾燥させてください。
主剤・硬化剤は正確に混合し、使用前にハンドミキサーを用い十分にかくはんし、均一にしてから塗装してください。また、可使用時間内にご使用ください。
他の塗料の混合は避けてください。
各工程の塗装間隔は、所定の時間を厳守してください。
たれ、かすれ、塗り残しがないよう均一に塗装してください。
塗付量の数値は標準のものです。素地の形状や塗装方法、施工環境などによって増減することがあります。
エアレス塗装の場合は、周囲への飛散防止に十分注意し、養生などを行ってください。
次のよう素地の場合、付着不良を生じることがありますので、塗装を避けてください。
・清掃が不十分で汚れが付着している素地
・強度の低い素地
適用部位、適用素地以外への使用は避けてください。
ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに本品塗装面が接触すると、粘着の発生またテーブル・カウンター・棚などを置くものへの塗装は避けてください。
シーリング部分の塗装に関しましては、お問い合わせ下さい。
尚、シリコン系及びブチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
シャッター・歩行部分への使用は避けてください。
ドアパッキン、ゴム、プラスチックなど可塑剤を含むものに、またテーブル・カウンター・棚など物を置くものへの塗装は避けてください。
開缶した状態で長時間放置しないでください。
補修塗りは、使用した塗料（同一ロット）を用いて、同じ塗装方法で行ってください。

取り扱いの注意事項

換気の良い場所で使用してください。
居住者・隣家・車両などへ塗料ミスト、臭い、換気などが飛散しないような塗装方法を選ぶとともに、十分な養生をしてください。
臭いは食料品・飲食物・衣類などに、うつる場合がありますので、塗装場所から遠ざけるまたは養生するなど、十分注意してください。
粉塵・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないでください。
環境への放出を避けてください。
この製品を使用するときに、飲食をしないでください。
取扱い後は、手洗い、うがい、鼻孔洗浄を十分行ってください。
保護手袋・保護眼鏡・保護面・保護衣・呼吸用保護具を着用してください。
吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。気分が悪い時は、医師の診断/手当を受けてください。
飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡してください。口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
目に入った場合は、水で数分間注意深い洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けてください。
皮膚（または髪）に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱いで取り除いてください。皮膚を流水・シャワー・石鹸で洗ってください。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。
漏出した場合は、すべり、流出の危険があるので直ちに布やウエスで拭き取ってください。
容器を密閉し、涼しい換気の良い場所で施錠して保管して下さい。
火災、腐食、盗難、凍結などの恐れのないところに保管して下さい。
外部者や子供の出入りしないところに保管して下さい。
内容物や容器などは、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託してください。
（排水溝、地面、河川などに流さないでください。）

お問い合わせ

- 印刷物と実際の商品では、色や柄が異なって見える場合があります。
- 本商品は条件にあった施工が必要です。
- 施工については認定施工業者にご用命ください。
- 日本国内専用品です。

※当社は個人情報保護を社会的責務と考えます。お客様からお預かりした個人情報は関連法令および社会書規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。

SIC コーティングス株式会社

SIC COATINGS SIC コーティングスに関する情報はホームページを御覧ください。
<http://www.sic-coatings.jp>

商品のお問い合わせ

お電話によるお問い合わせ FAXによるお問い合わせ
03-6859-8528 03-6859-8401
東京本社：〒106-0047 東京都港区南麻布 3-20-1
麻布グリーンテラス5階
大阪支店：〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 2-3-13
大阪国際ビルディング31階
TEL:06-7711-3779 FAX:06-4964-2046